

# 第1回薩摩川内市行政改革推進委員会 会議録

|      |                          |                                             |
|------|--------------------------|---------------------------------------------|
| 開催日時 | 平成27年6月9日(火) 13:30～15:30 |                                             |
| 開催場所 | 薩摩川内市役所 501会議室           |                                             |
| 出席者  | 委員                       | 吉満会長、小島副会長、外薮委員、中野委員、徳田委員、山本委員、山下委員 欠席:上楯委員 |
|      | 事務局                      | 行政改革推進課長、同課長代理、同課職員                         |
|      | 傍聴者                      | なし                                          |

## □会次第

| 開会                              | 主管課・室     |
|---------------------------------|-----------|
| 1 開会                            |           |
| 2 会長及び副会長の選出                    |           |
| 3 諮問                            |           |
| 4 報告・協議                         |           |
| (1) これまでの行政改革推進委員会の取組について       |           |
| (2) 第6期行政改革推進委員会の取組及びスケジュールについて |           |
| (3) 会議の公開・非公開について               |           |
| 5 模擬評価                          | 環境課、交通貿易課 |
| 6 その他                           |           |
| 7 閉会                            |           |

## □議事

### 1 開会

○課長代理 (会議資料に基づき、委員を紹介)

○課長 (会議資料に基づき、職員を紹介)

### 2 会長及び副会長の選出

○課長 (規則に基づき、委員の互選により、会長及び副会長を各1名決めていただきたい旨の説明) まずは、会長、副会長への立候補または、ご推薦はないか。

○委員 会長には、第5期会長を務められ、経験が豊富な吉満委員を推薦する。副会長は、聞くところによるとこれまで女性の委員が務められてきたとのことで、本委員会唯一の女性委員である小島委員を推薦す

る。

○課長 吉満委員、小島委員の他に推薦がないので、お二人にお願いしたいがどうか。

○委員 異議なし。

○課長 それでは、会長は、吉満委員、副会長は、小島委員に決定する。

○会長 ご推挙いただいた吉満です。第5期でも会長を務め、事務事業評価、補助金等評価を行った。主管課のご指導のもと、あらゆる方面からのご意見をいただき、それをまとめて市に答申として提出した。第5期委員会では、委員の皆様からたくさんの意見を出していただいた。第6期委員会で

も同じくたくさんの意見を賜りたいと思うのでよろしく願います。

**○副会長** 女性チャレンジ委員会(昨年までは、女性50人委員会)に所属しており、これまで市政について話し合いをしてきた。この会では、その経験を生かし役に立てるよう会長、皆様にご指導いただきながら努めてまいりたいのでよろしく願います。

### 3 諮問

#### ○副市長

(会長に諮問書を交付)

**○課長代理** ここで、副市長は公務のため退席する。ご了承願いたい。

#### 4 (1) これまでの行政改革推進委員会の取組について

**○課長代理** ここからの議長は、規則に基づき、会長に願います。

**○会長** ここから、規則に基づき議長を務めさせていただく。それでは、これまでの行政改革推進委員会の取組について事務局より説明をお願いしたい。

#### ○課長

(会議資料に基づき、説明)

**○会長** これまで10年間の活動について、ご説明いただいた。ご質問のある方は、いないか。無いようなので、この報告は、以上とする。

#### 4 (2) 第6期行政改革推進委員会の取組及びスケジュールについて

**○会長** 事務局の説明をお願いする。

#### ○課長

(会議資料に基づき、説明)

**○会長** 第6期行政改革推進委員会の取組とスケジュールについてご説明いただいた。ご質問のある方は、いないか。今後、タイトなスケジュールで、月2回程度の委員会の開催が予想される。大変だと思うが、委員の皆様には、スケジュールの調整をよろしく願いたい。

#### 4 (3) 会議の公開・非公開について

**○会長** 事務局の説明をお願いする。

**○課長** (会議資料に基づき、公開の扱いとしたいことを説明)

**○会長** 会議の公開・非公開について、ご説明いただいた。第5期では、委員の意見をそのままホームページに公開したことで、委員が鋭い質問をしていることが市民にもわかっていただけたと思う。このような経緯から、委員の意見を公開したほうが、市民の理解も深まるのではないか。事務局は、公開の扱いとしたいとのことであったが委員の皆様から意見はあるか。

**○委員** 異議なし

**○会長** 公開という形で取り扱う。

### 5 模擬評価

**○課長** 模擬評価の趣旨は、行政改革推進委員会がどのような形で審議、外部評価がなされているのか、初めての委員の方もいらっしゃるので本委員会の運営も含めて体験していただくために行うものである。本日は、昨年度評価が行われた「快適環境づくり補助金」、「地区コミ・デマンド運行モデル事業補助金」の2つの補助金について模擬評価をしていただく。模擬評価なので、わからないことがあればその都度質問をしてほしい。これに併せて、委員会の進め方を決めていただきたい。今回、委員会の進め方を2パターン考えている。1つ目は、「補助金毎に評価をまとめる方法」で、主管課の説明、質疑応答終了後に主管課が在席している状態で補助金の評価及び見直しの方向性について、まとめを行う方法である。こちらは、辛口な意見は言いづらい点があるが、疑問が生じた際にすぐに質問することができるので、まとめが容易であると考え。2つ目は「主管課毎に評価をまとめる方法」で、まとめの際に主管課は離席するので、意見が自由にだしやすいが、疑問が生じた際にすぐに質問をすることが難しいといった点もある。以上これからの委員会の進め方をふまえたうえで模擬評価に臨んでほしい。それでは、会長に進

行をお願いします。

○**会長** それでは模擬評価を始める。主管課より説明をお願いします。

●**主管課** （模擬評価資料に基づき、説明）

○**会長** 主管課より快適環境づくり補助金模擬評価としてのご説明いただいた。ここで、委員から主管課の説明や資料に対して質問、詳しく知りたいことがあれば質問してほしい。また、先ほど課長から説明があった通り、委員会の進め方も併せて考慮しながら進めていきたい。再度になるが意見、質問はないか。

○**委員** この補助金は、プラス評価されているが、マイナス評価として、対象団体が今のままで妥当なのか。補助率が8・9割で全額でない部分もあるが、自己負担分の原資がないので使い勝手が悪い等の市民からのマイナスの意見は出ていないのか。

●**主管課** マイナスの意見として、「前金払いにならないのか」、高齢者クラブから「書類の記入等簡素化できないのか」等の意見があげられている。

○**会長** ありがとうございます。地区コミュニティ協議会が間に入って意見を聞くなどといった取組は可能か。

○**委員** 年配の方にとって、書類を記入することは難しい場合もある。地区コミュニティ協議会を含めて手伝い等をもらいながら運営できればと思う。

○**会長** ありがとうございます。他に意見はないか。

○**委員** 花の種類として、一年草や多年草、決まりはあるのか。

●**主管課** 花の種類は、特に決まりはない。自分たちでできる範囲でしてくださいと伝えている。

○**委員** 花の管理、草むしり等は、補助対象となるのか。

●**主管課** 花、土、道具類は、補助対象に入るが、花の管理、草むしりといった労働力は補助対象には入らない。

○**会長** 他に質問はないか。

それでは、快適環境づくり補助金の説明は以上である。ありがとうございました。

○**課長** 今の模擬内容について、昨年度の評価結果を後ほど紹介したい。

○**会長** 次の主管課より説明をお願いします。

●**主管課** （模擬評価資料に基づき、説明）

○**会長** 主管課よりご説明いただいた。説明の中で、わからない言葉等出てくると思うが、資料は次回から開催1週間程前に、事前送付されてくる。そこで事前に十分理解を深め、質問を準備して委員会に臨んでほしい。地区コミ・デマンド運行モデル事業補助金に対して質問はあるか。

○**委員** 図から見ると補助対象区間は自宅から東郷、樋脇のどこまでとなっているのか。

●**主管課** 補助金交付要領では、原則として利用者の自宅から地区コミュニティセンターのバス停、地区コミュニティセンターに隣接する生活圏のバス停ということとなっている。基本的には、バス停に行くことが原則であるが平佐東地域については、最寄りのバス停がある東郷の町の中心や樋脇支所までを認めている。

○**委員** デマンドタクシーを使って、自宅から川内の市街地やくるくるばすのバス停まで行くことができないのか。

●**主管課** このデマンドタクシーは、非常に安価で運行しており、既存のバス路線と競合するような運行は行わないように運輸局から指導を受けている。既存のバス路線や市内横断シャトルバスもあるので、デマンドタクシーで東郷支所や樋脇支所のバス停まで来た後は、そちらの方を利用していただいている。

○**委員** 福祉タクシーの利用は考えていないのか。

●**主管課** 福祉タクシーは、甑島で運営しているところがあるみたいだが、経費、車両の所有、管理などさまざまな制限や問題が

あるためNP0を含めなかなか手をあげてくれる方がいないのが現状である。よって、今のところそのような活用はないと考えている。

○**会長** ありがとうございます。他に何かあるか。

○**委員** 甌島地域には、デマンド交通が存在しないが、それに代わるような代替案などはないのか。

●**主管課** 甌島地域については、平成26年度から、上甌江石地区と中甌地区でデマンド運行をしている。これについては、車両を小型化し、上甌に1台ハイエース(キャブオーバー型の自動車(ミニバン))を置き、デマンド運行をしている。鹿島、下甌地域では、片野浦と手打トンネルバス待合所をデマンド運行をしている。今年4月から上甌の、桑乃浦から瀬上の一部区間をデマンド運行している。今後の方針として、地域住民の利便性の向上のため、車両を小型化しながらデマンド運行に移行していきたい。

○**会長** デマンドバスですかね。

●**主管課** 甌島には、バスしかなく、南国交通さんに委託している。10人以下がタクシー、11人超えるとバスとの定義があり、デマンドタクシー、デマンドバスを総称してデマンド交通と定義づけしているところである。

○**会長** 他に質問はないか。

○**委員** 平成23年度から平成25年度にかけて、利用者が増えているのはなぜか。

●**主管課** 当初は、運賃を300円とっていたが利用率がなかなか伸びなかった。東郷地域、入来地域ではコミュニティバスとして100円で運行していたので、これを300円から100円に下げたことによって急激に利用者が増えた。

○**会長** 甌島地域のデマンド運行の拡充をお願いしたいとの意見がでましたのでご検討よろしくをお願いしたい。他に質問はな

いか。それでは、今回は委員の意見、主管課からの説明をいただきながら模擬評価を進めることができた。これ以降は、主管課に対する批評、補助に対する忌憚のない意見をいただきたい。ここで主管課はいったん退席する。

●**主管課** (退席)

○**委員** 委員会で記録をする者はいるのか。

○**会長** 事務局でしている。

○**委員** 事務局は、ずっと在席しているのか。

○**会長** 主管課は退席するが、事務局は在席したままである。

○**委員** このあと、質問が出てくる場合もあるのか。

○**会長** そういう場合もあるので、できるだけ先ほどの質問タイムのなかで質問をしていただきたい。

○**委員** この委員会は、民主党がしていた事業仕分けといった感じなのか。

○**会長** それとは少し違う。現在ある補助金について、良いも悪いも含めて評価する作業である。縮小、廃止といった候補が市から上がってくるわけではなく、そのような評価をしなければならないという訳でもない。

○**委員** 評価の方向性として、補助金の縮小、廃止というものはありなのか。

○**課長** ありうる。民間と行政では、視点や考え方も違うので客観的な評価をしていただきたい。本委員会での評価は必ずしも強制力というものはないが、薩摩川内市の大きな附属機関に所属しているので、民間から行政に対しての貴重な意見として行政に反映させていきたい。また、担当課にも真摯に受けとめてほしいと思う。これを踏まえて、今後の委員会の進め方で、評価の際に主管課が在席していると、辛口な意見は言えないが、疑問が生じた場合、すぐ聞くことができる。また、評価の際に主管課が離席する場合、意見は自由に言いやすいが、疑問が出てきた際、すぐに質問をす

ることが難しい。これまでは、主管課が離席した状態で委員会を進めてきた。どちらにしろ、メリット、デメリットはある。本日、委員会の流れを委員の皆様で決定していただき、それを2回目以降の委員会に反映していきたいので、よろしくお願いします。

○**会長** 効率的な運営をしていくためには、主管課毎に評価をまとめる方法がいいのではないかと考える。ただし、補助金をまとめて評価するので、頭を切り替えるのが大変かもしれない。よって、事前に資料に目を通していただき、聞きたいことはメモして、委員会にて質問し、まとめの中で意見が出せるようにしてほしい。

○**委員** 事前に資料をいただけるということであれば、効率性を考慮して、主管課毎に評価をまとめる方法で進めた方がよいと思う。

○**会長** 効率性を考慮すると、主管課毎にまとめる方法がいいと考えるがどうか。

○**委員** 異議なし。

○**課長** 18課の補助金を評価することになる。1課で多いところは6補助金、少ないところは1～2補助金と課によって違う。主管課毎に評価をしていく方向であれば、事務局としても効率的な運営ができる。事前に、資料送付するので勉強して委員会に臨んでほしい。こちらもできるだけ早めに資料が送付できるように努めたい。

○**委員** 所要時間が5分とあるが、本当に5分でおさまるのか。

○**課長** 概ね5分となっているが、仮に主管課の説明が長くなった場合は、卓上ベルで時間を知らせるようにしている。

○**委員** 主管課は、説明することが多くあり、5分で収まらないこともあると思うのでそれを5分で区切ってしまうのはどうかと思う。

○**会長** 主管課が主なのではなく、委員会が主なので、基本的にはタイムスケジュールに合わせて進めていく。

○**課長** ここで先ほどの模擬評価の平成26年度の評価結果を参考までに紹介するので第5期の委員の意見を参考にしてほしい。(資料をもとに説明)

○**会長** 今後の委員会の中で、委員から意見や質問が出ないことには主管課も、説明しようがなく、答えることもしない。よって、主管課を急がすくらい、たくさんの意見を出していただきたい。これにて、模擬評価を終了する。

## 6 その他

○**課長** 今回は、7月7～9日の13：30～16：00の開催を予定している。都合がよい日を6月16日までにお知らせいただきたい。事務局にて、集計し、委員の皆様が一番都合がよい日を決定し、通知文、事前資料を送付する。

## 7 閉会

○**課長代理** 長時間にわたり、熱心にご協議いただき誠にありがとうございました。以上をもちまして、第1回薩摩川内市行政改革推進委員会を終了させていただく。ありがとうございました。